

【2026 年度/専門科目領域/人間コミュニケーション学科】

科目名		ナンバリング		区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
観光学				必修	2	1	後期
担当教員		研究室		電子メール ID		オフィスアワー	
安藤 勝洋 他		講師控室		kyoumu		随時メールで質問等受付	
授業の目的・概要		<概要>本科目では、地域における「観光」の現状と課題を理解するため、観光学に関する基礎的な理解を深める。地域社会や観光産業が直面する現状と課題を、具体的な事例を交えながら学ぶ。また、多角的な視点や多様性を尊重し、来訪者（観光客）と地域住民の良好な関係性や円滑なコミュニケーションの方法を考える。 <目的>本科目は、観光の基礎を学ぶことによって、地域社会や関連産業の発展に貢献できる人材としての資質を身につけることを目的とする。					
授業形式・方法		☒ 対面授業 ☐ 遠隔授業(双方向型) ☐ 遠隔授業(自主学習)	☒ 講義 ☐ 実習	☒ 演習 ☐ 実技	☐ PBL ☐ グループワーク ☐ その他（	☐ 反転授業 ☐ プレゼンテーション)	☒ ディスカッション・ディベート ☐ 実習・フィールドワーク
学習上の助言		1) 普段から観光や地域振興などのニュースや活動に関心を持つことが望まれる。 2) 講義では、知識を丸暗記するのではなく、自分の意見を述べ、記述する練習を行いたい。					
教科書		特に指定なし					
参考書		テキストや副教材は、教員が独自に作成したものをを使用するため、事前に購入する必要はない。					
外部教材		授業内で適宜紹介する					
学生が達成すべき行動目標						関連卒業認定・学位授与方針	
①	観光の基礎概念や最新の観光産業の動向について説明できる。					HC(2),(3)	
②							
③							
授 業 計 画							
回	学習内容等			授業の方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	オリエンテーションと導入のためのディスカッション			講義 [担当]吉田	授業で扱った内容をよく復習して、整理しておく	2	
2	観光の起源（戦争と巡礼）			講義 [担当]吉田	授業で扱った内容をよく復習して、整理しておく	4	
3	言葉から考える観光の意味（「観光」の語源）			講義 [担当]吉田	授業で扱った内容をよく復習して、整理しておく	4	
4	観光の歴史（1）飛鳥時代～中世の観光			講義 [担当]安藤	授業で扱った内容をよく復習して、整理しておく	4	
5	観光の歴史（2）江戸時代の観光			講義 [担当]安藤	授業で扱った内容をよく復習して、整理しておく	4	
6	観光の歴史（3）近世から現代の観光			講義 [担当]安藤	授業で扱った内容をよく復習して、整理しておく	4	
7	観光資源と観光地（1）観光資源とは何か			講義 [担当]安藤	授業で扱った内容をよく復習して、整理しておく	4	
8	観光資源と観光地（2）観光地とは何か			講義 [担当]安藤	授業で扱った内容をよく復習して、整理しておく	4	
9	観光とまちづくり（1）			講義 [担当]安藤	授業で扱った内容をよく復習して、整理しておく	4	
10	観光とまちづくり（2）			講義 [担当]安藤	授業で扱った内容をよく復習して、整理しておく	4	
11	観光関連産業の仕組みと構図（1）			講義 [担当]安藤	授業で扱った内容をよく復習して、整理しておく	4	
12	観光関連産業の仕組みと構図（2）			講義 [担当]吉田	授業で扱った内容をよく復習して、整理しておく	4	
13	多様な主体による観光の可能性 （1）ホテルにおけるユニバーサルデザイン			講義・演習 [担当]吉田	授業で扱った内容をよく復習して、整理しておく	4	
14	多様な主体による観光の可能性 （2）ユニバーサルツーリズムと入浴介助観光			講義 [担当]安藤	授業で扱った内容をよく復習して、整理しておく	4	
15	観光とメディア、全体のまとめ			講義 [担当]安藤	授業で扱った内容をよく復習して、整理しておく	6	
試							

【2026 年度/専門科目領域/人間コミュニケーション学科】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	70	0	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	0	0	0
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	20	0	0	0	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	30	0	0	10	40
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	講義内で扱った観光の事例や地域課題の中からテーマを 1 つ選択し、期末レポート（800～1,200 字程度）を提出する。単なる講義内容の要約だけでなく、授業で得た視点や知識を踏まえたうえで「自分自身の考えや解決策のアイデア」が論理的に述べられているかを評価基準とする。				Teams にてコメントの上で、返却する。
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	各授業の最後にリアクションペーパー（振り返りシート）の提出を求める（全 15 回×各回 2 点＝30 点満点）。単なる出席確認にとどまらず、「授業内容の理解（1 点）」および「講義を通じた自身の気づきや疑問・意見の記述（1 点）」の 2 項目を基準として平常点を算出・評価する。				Teams にてコメントの上で、返却する。
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員		吉 田 均					
教員の実務経験		【安藤勝洋】国際協力機構（JICA）の観光分野の専門家として、日本政府の ODA によるベトナムでの観光計画の立案や観光地の再生などに長年携わってきた。また山梨県内でも、地方自治体や観光協会などと連携した地域振興事業も多数実施している。 【吉田均】笹川平和財団プログラムオフィサー、外務省専門調査員、東京財団研究員、環日本海経済研究所客員研究員として、外交政策や国際協力、地方自治体と連携した地域振興事業を企画実施し、関連政策を立案してきた。					
実践的授業の内容		担当教員である安藤勝洋／吉田均は、共に観光を通じた国際協力事業や県内市町村での観光を通じた地域振興事業を企画・実施してきた。また県内自治体の観光振興計画の立案にも直接参加してきた。以上の実務経験に基づき、県内自治体の現状を紹介し、学生とディスカッションを行う。					
そ の 他		生成 AI（ChatGPT 等）だけを使用した課題作成は認めない。発見した場合は、評価を減じる。授業では積極的に発言し、自ら学ぶことが求められる。その点を理解の上受講すること。教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は対面授業の参加を認めない。					